

## 不登校加配教員を核としたSC・SSW・ 特別支援コーディネーターの連携について

### 不登校生徒の状況

対象生徒は、発達面で言語能力や処理速度に課題を抱え、クラスでの一斉指導に困難さを感じている。また、他者とコミュニケーションを取ることに苦手意識がある。その他、家庭環境に課題を抱え、母親は忙しくネグレクトの傾向がある。

### 具体的な取組

#### ○様々な職員による登校刺激

不登校加配教員が中心となり、担任や学年教員だけではなく、特別支援コーディネーター、養護教諭、SCなど、様々な教職員が連携して、登校刺激を与え、学校全体で組織として登校するきっかけ作りを進めることができた。

そのため、今年度は登校日数が増加している。

#### ○SC・SSWを含めた五者面談の実施

面談機関に合わせて本人・保護者・担任に加え、SC・SSWを含めた五者面談を実施した。カウンセリングの視点や家庭環境・医療機関での受診結果など様々な視点から今後の活動目標についての調整を行った。不登校加配教員が中心となって、事前に打合せを設定したことで面談を円滑に進めることができた。

#### ○学校行事を通じたクラスとの関わり

学校行事に対して積極的に取り組もうとする姿勢を後押しし、運動会や宿泊行事などを通じてクラスの生徒と関わる機会を設定することができた。一斉授業や学級での生活に対しては、まだ抵抗感はあるが、一部の生徒とは関わりをもつことができるようになってきている。

#### ○校内別室の活用と居場所づくり

校内別室での活動を促し、学校との関わりを継続することができた。別室支援員との関係も構築し、より多くの大人による見守り体制ができた。別室登校を通じて他学年の生徒と関わる機会も増え、生徒の居場所の提供に大きく役立っている。



### 成果

担任だけではなく、特別支援コーディネーター、養護教諭、SCなど、多くの大人が関わりを継続したことで、生徒の登校日数が増加している。また、学校行事を通して、周りの生徒との関係性も改善され始め、前向きに活動に取り組むことができた。

### 課題

家庭環境の影響を受けて欠席が続いてしまう時期があるため、引き続き別室での生活を促しながら、登校刺激を継続していく。

## 校内別室について

### 不登校生徒の状況

対象生徒は、中学3年生である。不登校の起因は、幼少期から学校の雰囲気や大人数で生活する環境に適応することが難しかったことであると考えられる。小学校段階から欠席が多く、学習面に不安がある状況で中学校入学を迎えた。しかし、中学校入学後から校内別室に通い始めたことで、少人数指導の下、落ち着いて学習や進路に取り組めるようになり、行事や給食時には教室に入ることもできるようになった。

### 具体的な取組

#### ○組織力の向上

担任や不登校対応教員からの情報をもとに、ケース会議を実施した。ケース会議では、担任、保護者、本人による三者面談の内容や、巡回相談心理士による生徒観察時の情報等を収集・分析・共有し、チームとして支援を進める必要性と支援の方向性を確認した。また、SCや養護教諭も該当生徒と関わる機会を増やし、相談しやすい体制を構築した。

#### ○個々の不登校支援

別室での対応としても学習だけでなく過ごしやすい環境作りと短時間登校を意識して、学校へ登校するハードルを上げないように心がけた。

別室内にはパーティションを設置し、生徒の安心感を向上させた。

また、職員室内に校内別室を利用している生徒情報を共有できる掲示板を設置するなど、「見える化」を進めた。



#### ○校内体制の強化

支援のための校内委員会を週に1度、通年開催できるよう週時程に組み込んだ。委員会では支援シートをもとに生徒の状況や変化を共有している。生徒との関わり方においても、不登校対応教員や学年担当教諭、養護教諭、SC、SSW等が同じ視点を持ち、共通した対応ができるよう都度調整した。また、校内委員会の内容は全教員間でも共有している。

#### ○不登校対応加配教員連絡会及び都主催研修会の参加

不登校対応巡回教員が、研修会に参加し、各校の不登校支援の取組について学んでいる。また、研修会へ参加する上で、自校における現在と今後の課題を明確にして臨むことで、より自校の支援につながる実践例を収集することができた。これにより、校内別室での支援や環境整備に役立てることができている。

### 成果

教員・支援員との信頼関係を築ことができ、学習・進路の不安を相談できた。登校意識が高まり、自分のペースで継続的に登校し、学習を行うことができた。また、新たな交友や友人関係のつながりを生み出すとともに、より良い人間関係を保つことができ、学校行事に参加・見学することができた。結果的に、保護者からの安心感や信頼感を得ることにもつながっている。

### 課題

- (1) 学習意識の向上
- (2) 成績の保証
- (3) 生徒への精神的配慮
- (4) 個に応じた対応
- (5) サポートルームの拡充
- (6) 校内別室支援員の確保